

調査・研修報告書（議員用）

報告者：吉川 遂也

実施場所：第27回清溪セミナー（東京都日本青年館ホテル）オンデマンド視聴参加	実施日：令和4年10月17日～18日（視聴実施日：令和4年12月30日）
■目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など） <p>少子高齢化が極端に進む本市において、まちづくりや地域活性化の先行事例の講演を聴講し、今後の政策提言に活かすとともに、財源の有効活用と効率的差配についての検討を加える。</p>	
■参考とすべき事項 <p>石破茂衆議院議員の講演にあったように、人口減は必ず訪れる将来であって、今後極端な人口増は、移民等の政策転換がない限り実現しえない。我々ができることは、首都圏一極集中の人口バランスを地方へ平準化するとともに、東京は中央世帯の基礎支出と可処分所得の差額は全国的に下位になるという現実、東京在住の所謂中間層は決して豊かな生活ではない事実をしっかりと把握し人口流出を抑える必要がある。</p> <p>また、徳島県神山町における事例。小さな国際交流をきっかけとして、創造的過疎というコンセプトを立ち上げ、起業家の誘致、企業の誘致、学校の誘致を成功させ、世界から人が集まり働く過疎地を作り上げた事例等。</p> <p>木下氏の講演について。公共施設においても稼ぐことができ、持続的に運営できる施設の建設及び運営が必要であって、計画段階から施設にかけられる予算の計算も収入見込みと修繕等費用を念頭にしなければならないこと等。</p>	
■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など） <p>まちづくりやランドデザインの構築など他市町における成功事例には必ずキーマンとなる行政職員がおられるように感じる。積極的な人材育成と能力の研鑽を積める環境を整えることが大変重要である。</p> <p>神山町の事例についても、小さな民間の国際交流をきっかけとして、アート、フードなどを関連させ、自分たちが向かいたい未来をしっかりと描いた上でランドデザインを計画し、国の補助を足していくことが成功につながっていると考えるし、事業を計画立案しリードする行政職員がおられる。また、一つの事業が補助終了とともに終わるのではなく、更に発展していく好循環を生み出しているのも本市も参考としなければならない。</p> <p>他市の成功事例を参考にすることは多々あるが、模倣するのではなく成功した手腕に学び、本市のランドデザインを突き詰めて検討し、人口減の進む中で最も効率的で持続可能な事業を展開していかなければならない。</p>	